

AEGIS-Women イベントご報告（第80回日本臨床外科学会総会）

担当：梅澤 昭子先生（四谷メディカルキューブ）

第80回日本臨床外科学会総会会期中の2018年11月24日、ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）（以下、J&J社）の協賛により、「若手外科医のためのAEGIS-Womenハンズオンセミナー 内視鏡下結紮縫合 超入門編」を行いました。

AEGIS-Women初の試みとして、専門医未取得の若手外科医を対象に、J&J社のブースにおいてドライボックスを用い、内視鏡下の縫合結紮技術を実習形式で学んでいただきました。



梅澤先生が講義を行い、実習には上原圭介先生（名古屋大学大学院腫瘍外科学）にもご協力いただきました。

ハンズオンセミナーは二部制でそれぞれ定員5名とし、飛び入りも含めて計10名が参加し満員となりました。10分弱の動画を中心にした座学をおこなったあと、各々1台のドライボックスを独占して25分間じっくり実習していただきました。短時間で有用な実習となるよう、内容は結紮手技に焦点をあて、「Cループ」、「オーバーラップ&アンダーラップ」、「スクエアノット」、「スリップノット」の4つに絞りました。実習の前後でスクエアノットの所要時間を計測し、実習の成果を実感できるようにしました。

セミナー後のアンケートでは、「大変満足」が70%、「満足」が30%で、「1対1でじっくり実習ができてよかった」「勉強になった」という感想をいただき、たいへん好評でした。実習は初歩

セミナー後のアンケートでは、「大変満足」が70%、「満足」が30%で、「1対1でじっくり実習ができてよかった」「勉強になった」という感想をいただき、たいへん好評でした。実習は初歩

の初歩、本当の「超入門」であるため物足りな
いかもしれないと危惧していましたが、参加者
のニーズに合致した内容を提供できたよう
です。

今後は、本セミナーのような基本的な手技の
実習に加えて、もう少し進んだ手技の実習も取
り入れ、さらに会員のニーズに応えられるよう
なセミナーを提案していきたいと考えていま
す。

